

# 避雷設備施工例

- J I S A 4 2 0 1 : 1 9 9 2 (旧規格)

施工例 1 集合住宅

施工例 2 集合住宅

施工例 3 鉄塔

- J I S A 4 2 0 1 : 2 0 0 3 (新規格)

施工例 4 危険物倉庫

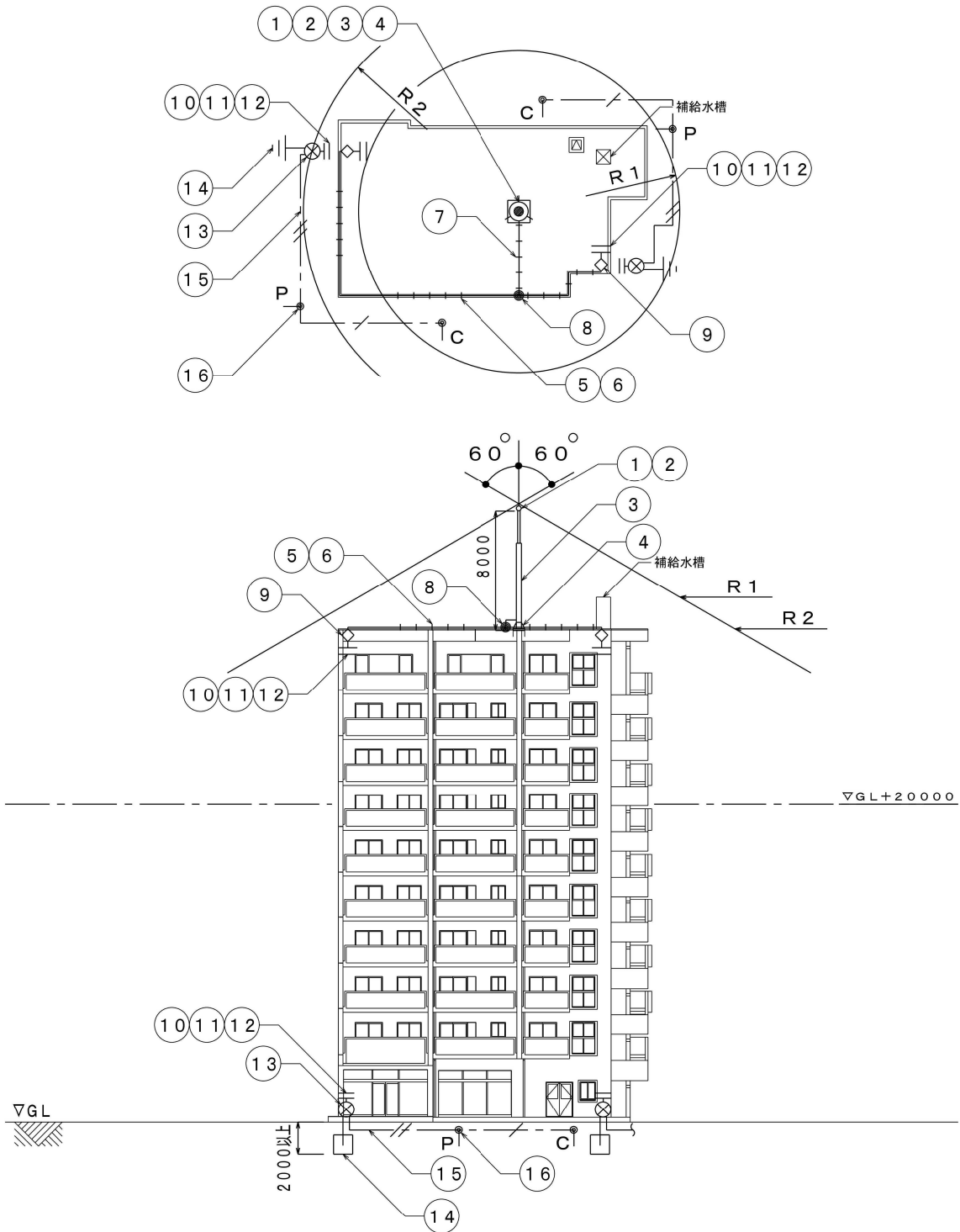
施工例 5 集合住宅

施工例 6 倉庫

# 避雷設備施工例

## 施工例 1 集合住宅 鉄筋コンクリート造

JISA4201:1992の規定に基づく

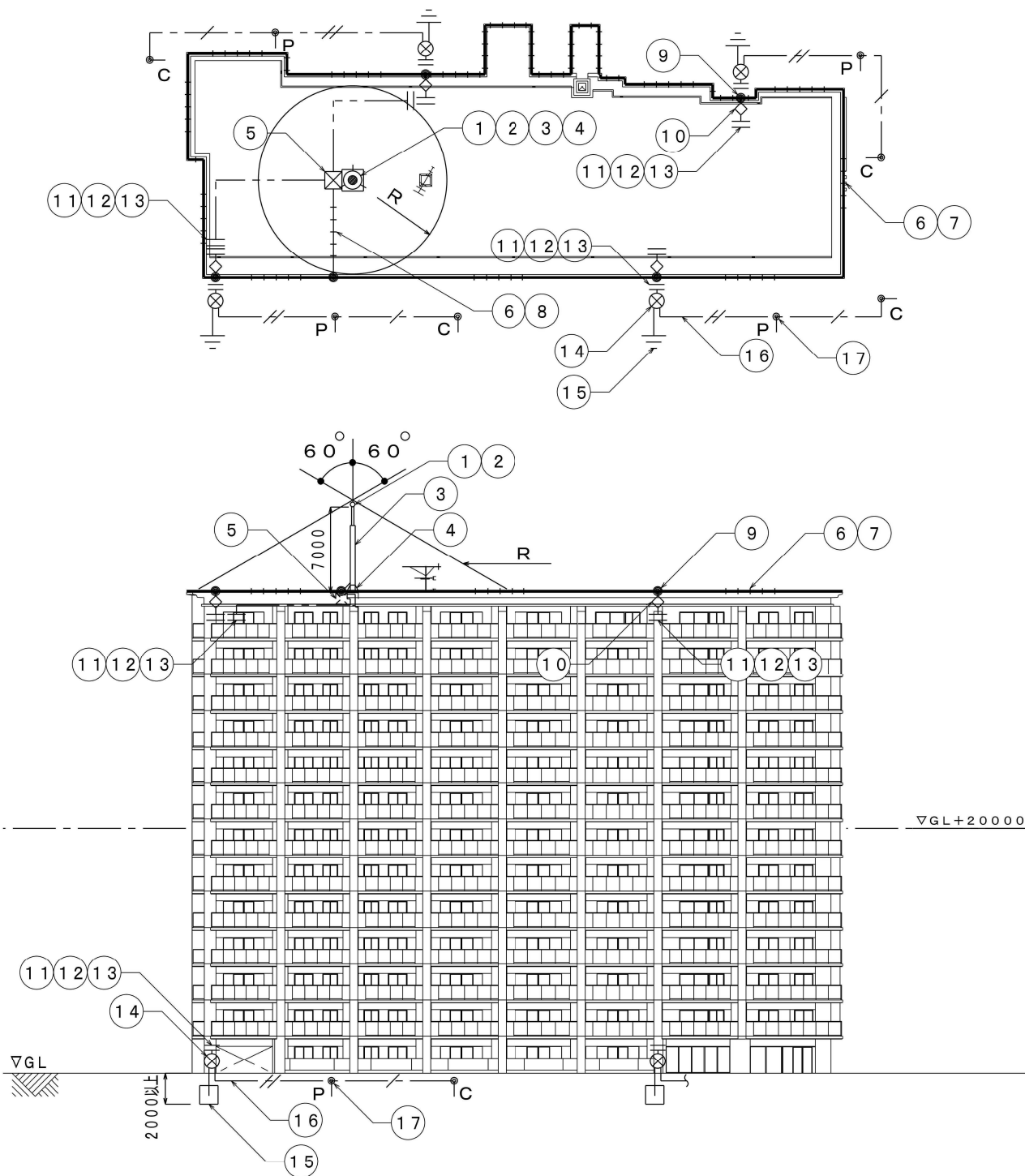


番号	品番	名称	番号	品番	名称
1	5103	突針 JIS大型 クロムめっき	9	7155	水切端子
2	5202	ダイヒカップリング	10	7003	銅導線 2.0 × 13本
3	5579	支持管 STKW 60.5φ(3.2t)~89.1φ(4.2t) 8.0m	11		PFS波付管 28
4	6203	支持管取付台 コンクリート用	12	7183	鉄筋用接続端子
5	7401	アルミ導線 2.0 × 19本	13	8132	端子ボックス 埋込型
6	7411	アルミ導線取付金物 コンクリート用	14	8631	接地銅板 1.5t × 900 × 900
7	7456	アルミ導線取付金物 床用	15	8704	測定用リード線 1V 5.5mm <sup>2</sup>
8	7441	T型接続端子	16	8705	測定用アース棒 14φ × 300

# 避雷設備施工例

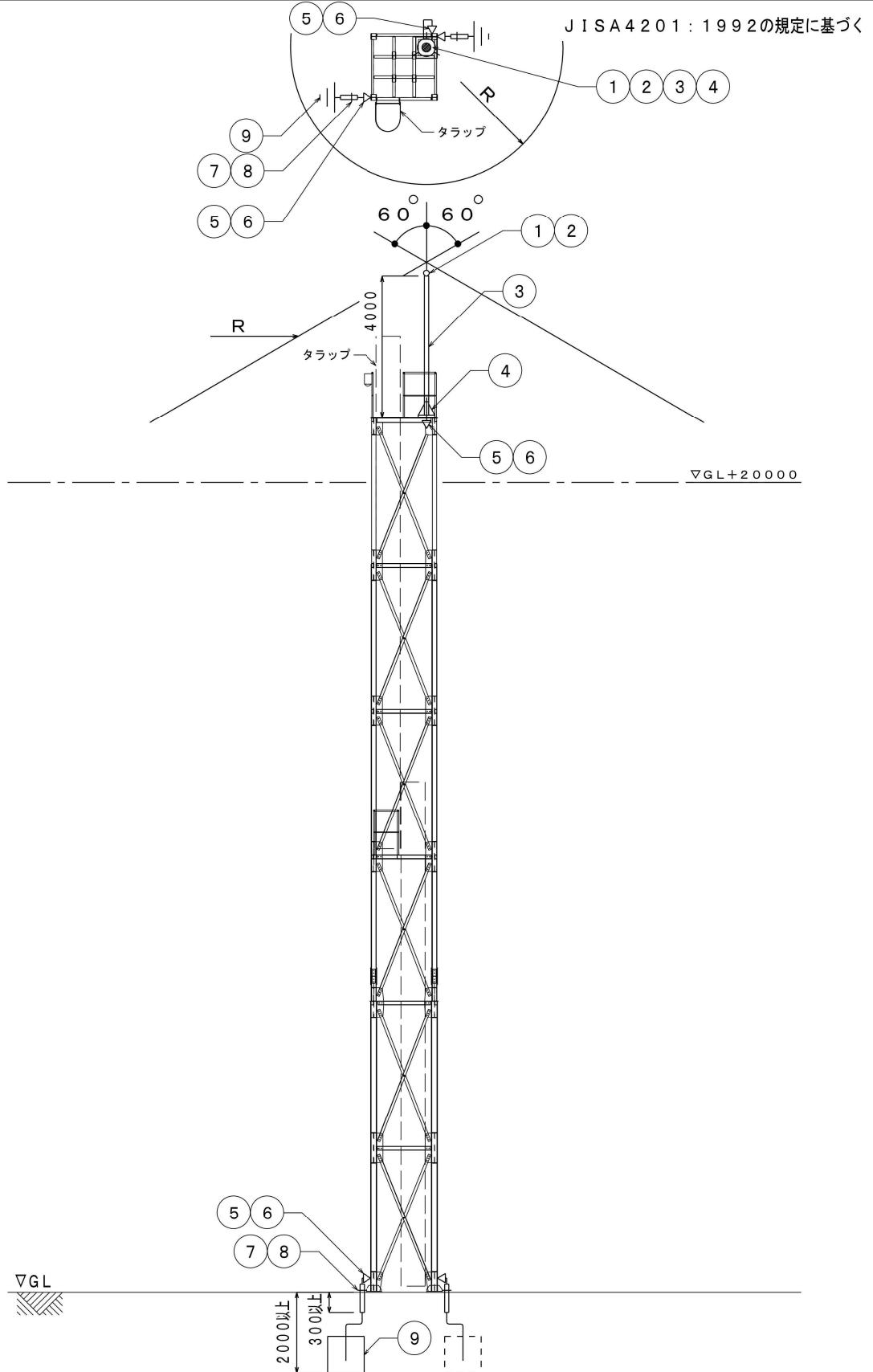
## 施工例 2 集合住宅 鉄筋コンクリート造

JISA4201:1992の規定に基づく



番号	品番	名称	番号	品番	名称
1	5103	突針 JIS大型 クロムめっき	10	7155	水切端子
2	5202	ダイヒカップリング	11	7003	銅導線 2.0 × 13本
3	5577	支持管 STKW 48.6φ(3.2t)~76.3φ(4.2t) 7.0m	12		PFS波付管 28
4	6203	支持管取付台 コンクリート用	13	7183	鉄筋用接続端子
5	8124	端子ボックス 露出型	14	8132	端子ボックス 埋込型
6	7401	アルミ導線 2.0 × 19本	15	8631	接地鋼板 1.5t × 900 × 900
7	7411	アルミ導線取付金物 コンクリート用	16	8704	測定用リード線 1V 5.5mm <sup>2</sup>
8	7456	アルミ導線取付金物 床用	17	8705	測定用アース棒 14φ × 300
9	7441	T型接続端子			

施工例 3 鉄塔 鉄骨造



番号	品番	名称	番号	品番	名称
1	5103	突針 JIS大型 クロムめっき	6	7187	鉄板用接続端子
2	5202	ダイヒカップリング	7		保護管 VE28
3	5572	支持管 STKW 48.6φ (3.2t) 4.0m	8	7621	保護管取付金物 鉄骨用
4	6201	支持管取付台 コンクリート用	9	8631	接地銅板 1.5t × 900 × 900
5	7003	銅導線 2.0 × 13本			

# 避雷設備施工例

## 施工例 4 危険物倉庫 鉄骨造

保護レベルに応じた受雷部の配置

JISA4201:2003の規定に基づく

保護レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)					メッシュ法幅 (m)
		20 $\alpha (^{\circ})$	30 $\alpha (^{\circ})$	45 $\alpha (^{\circ})$	60 $\alpha (^{\circ})$	60超過 $\alpha (^{\circ})$	
I	20	25	*	*	*	*	5

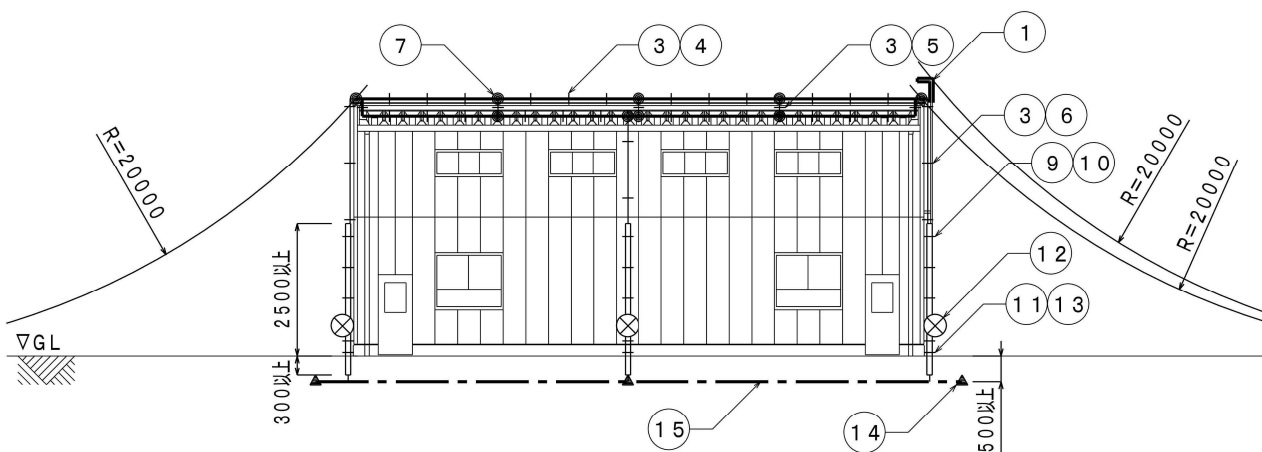
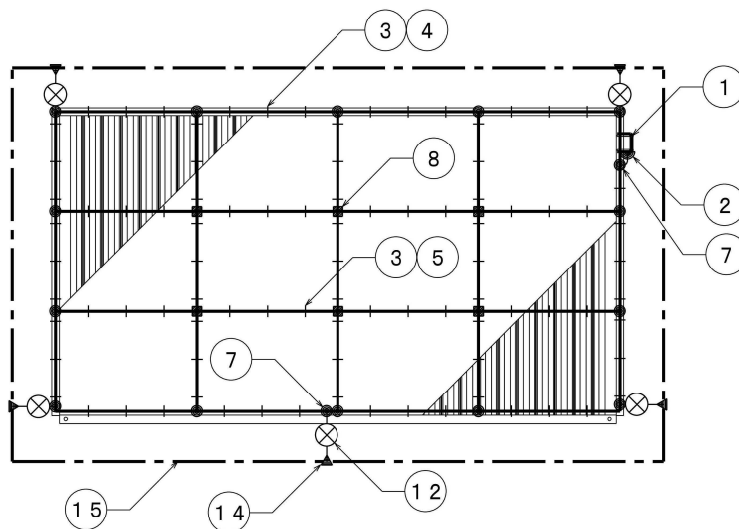
\* 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
I	10

※ 備考 1. Rは、回転球体法の球体半径。

※ 備考 2. hは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとする事ができる。



番号	品番	名称	番号	品番	名称
1		受雷導体 タラップ利用	9		保護管 VE28
2	7187	鉄板用接続端子	10	7612	保護管取付金物 ALC板用
3	7402	アルミ導線 2.0 × 25本	11	7611	保護管取付金物 コンクリート用
4	7467	アルミ導線取付金物 接着用	12	8121	端子ボックス 露出型
5	7483	アルミ導線取付金物 丸馳折版用	13	7003	銅導線 2.0 × 13本
6	7428	アルミ導線取付金物 ALC板用	14	7191	接続クランプ
7	7441	T型接続端子	15	7004	銅導線 2.0 × 19本
8	7442	十字型接続端子			

# 避雷設備施工例

## 施工例 5 集合住宅 鉄筋コンクリート造

保護レベルに応じた受雷部の配置

JISA4201:2003の規定に基づく

保護レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)					メッシュ法幅 (m)
		20 α (°)	30 α (°)	45 α (°)	60 α (°)	60超過	
Ⅳ	60	55	45	35	25	*	20

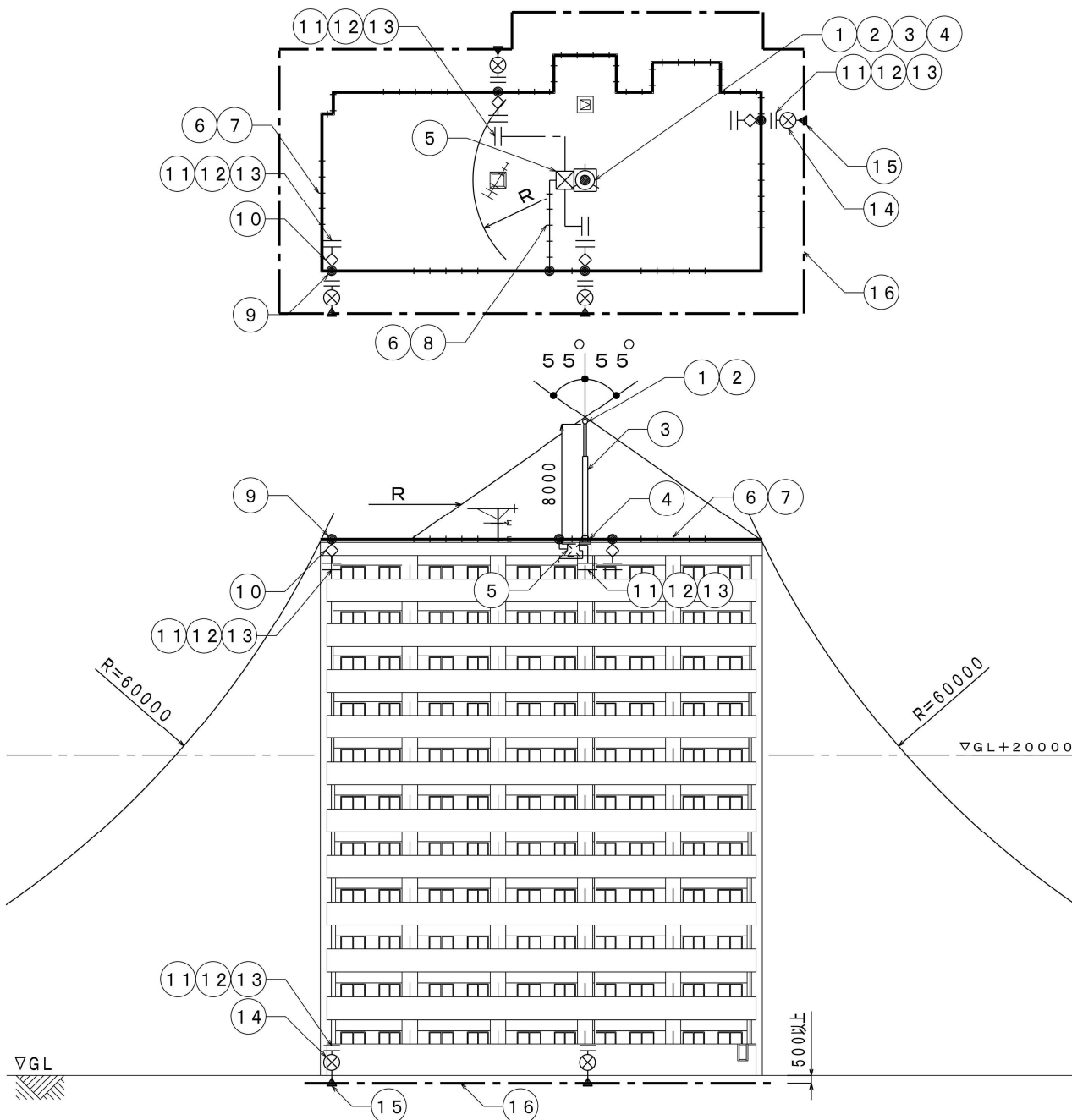
\* 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
Ⅳ	25

※ 備考 1. Rは、回転球体法の球体半径。

※ 備考 2. hは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとする事ができる。



番号	品番	名称	番号	品番	名称
1	5103	突針 JIS大型 クロムめっき	9	7441	T型接続端子
2	5202	ダイヒカプリング	10	7155	水切端子
3	5579	支持管 STKW 60.5φ(3.2t)~89.1φ(4.2t) 8.0m	11	7003	銅導線 2.0 × 13本
4	6203	支持管取付台 コンクリート用	12		PFS波付管 28
5	8124	端子ボックス 露出型	13	7183	鉄筋用接続端子
6	7402	アルミ導線 2.0 × 25本	14	8131	端子ボックス 埋込型
7	7416	アルミ導線取付金物 コンクリート用	15	7191	接続クランプ
8	7457	アルミ導線取付金物 床用	16	7004	銅導線 2.0 × 19本

# 避雷設備施工例

## 施工例 6 倉庫 鉄骨造

保護レベルに応じた受雷部の配置

JISA4201:2003の規定に基づく

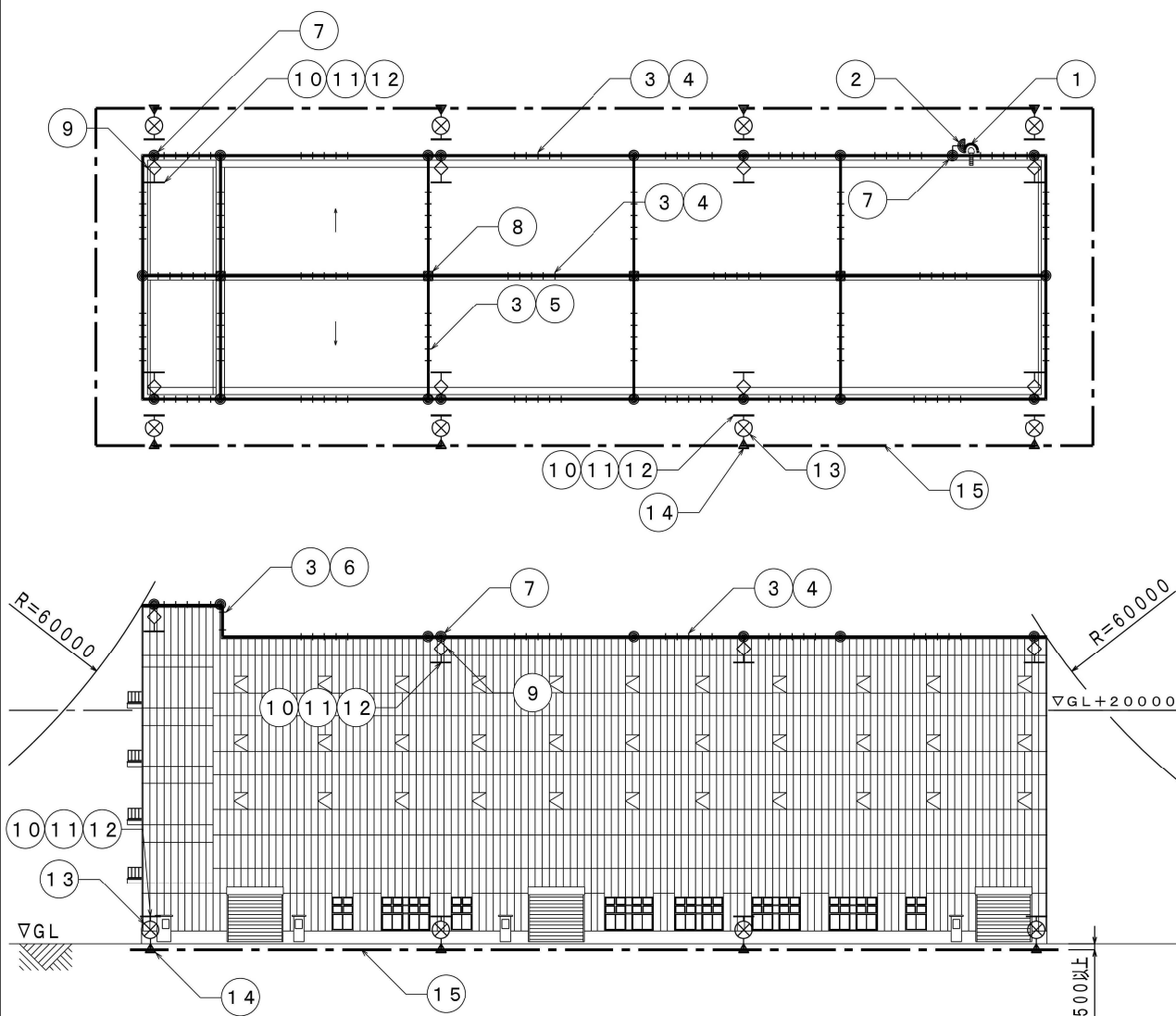
保護レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)					メッシュ法幅 (m)
		20 α (°)	30 α (°)	45 α (°)	60 α (°)	60超過	
Ⅳ	60	55	45	35	25	*	20

\* 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
Ⅳ	25

- ※ 備考1. Rは、回転球体法の球体半径。
- ※ 備考2. hは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとしてすることができる。



番号	品番	名称	番号	品番	名称
1		受雷導体 タラップ利用	9	7155	水切端子
2	7187	鉄板用接続端子	10	7003	銅導線 2.0 × 13本
3	7402	アルミ導線 2.0 × 25本	11		PFS波付管 28
4	7467	アルミ導線取付金物 接着用	12	7185	鉄骨用接続端子
5	7483	アルミ導線取付金物 丸馳折版用	13	8131	端子ボックス 埋込型
6	7428	アルミ導線取付金物 ALC板用	14	7191	接続クランプ
7	7441	T型接続端子	15	7004	銅導線 2.0 × 19本
8	7442	十字型接続端子			